

令和7年度学校経営報告

東京都立小平西高等学校長

福田 順子

1 今年度の取組目標と自己評価

(1) 学習指導

生徒一人1台端末を活用した授業を教員34名(全教員の約8割弱)が実践。研究授業を36回実施し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、授業改善を推進した。図書館の自習室利用は1,200名、授業評価満足度86.8%、で前年度に比べ微増し、主体的に学び、思考力・判断力・表現力を発揮する場面が増加した。第一学年「総合的な探究の時間」において、外部機関と連携した活動を通して、生徒が自ら課題を設定し、ICT機器を活用しながら調査・発表を行い、主体的に学ぶ姿勢や自己理解を深め、他者の意見を尊重して聞く態度、思考力・判断力・表現力の育成につながった。一方で、課題設定や探究の深まり、社会との関連付け、ICT活用スキルには個人差が見られ、探究のプロセスを明確にした指導や支援の充実が今後の課題である。次年度は、探究セッションとして探究・研修部を設置し、外部機関とさらに連携を深め、探究担当が中心となって探究活動を推進する。

(2) 進路指導

年27回の進路行事等により科目選択能力を醸成し、小論文・面接指導を全教職員で分担するとともに、長期休業期間中に講習会26講座を実施したことで、大学短大合格者139名(54.5%)、日東駒専以上の現役合格者5名、進路決定率96.5%を実現。また、東洋大学・武蔵大学の指定校推薦合格に加え、探究学習や部活動の実績を活かした総合型選抜による合格者も増加し、生徒の多様な進路希望の実現が着実に進んだ。外部機関とした模試分析会、小論文・面接指導も積極的に取り入れたことも、総合型選抜合格者が増加した一因となっている。次年度は、基礎学力の定着を図り、CD層の底上げとAB層を更に伸ばし、生徒の希望進路実現を図るため、外部人材を活用した個別的・補完的な学習支援の導入が必要である。

(3) 生活指導・特別活動

生徒の主体性育成に向けて三大多行事の生徒主体運営を推進し、部活動加入率は72.2%と微増した。学校行事の満足度は生徒90.0%・保護者88.5%と高い一方、部活動満足度は生徒74.2%・保護者66.0%と差がみられ、今後の改善課題が明らかとなった。

生活指導部を中心に全教職員が共通理解のもと、挨拶、身だしなみ、時間厳守等の指導を粘り強く行ったことで、集会や行事等では規律やマナーを意識した行動が見られ、学年集会を通して生活・学習・進路に対する意識の向上が図られた一方、日常生活への定着には課題が残り、遅刻件数が年間8,804件と目標値を上回った。また、交通安全指導や警察署と連携した取組により安全意識の向上が見られたが、自転車ヘルメットの着用は十分に定着しておらず、次年度は生徒の主体性を生かしながら、規範意識の定着と行動変容につながる指導の充実が必要である。

生徒会が中心となって校則検討委員会を立ち上げ、授業における一人一台の学習用端末の活用が

進む中、午前中の学習で端末の充電が不足するという課題について、生徒から学校へ改善提案がなされた。これを受け、教職員が検討を行った結果、職員室内に充電設備を設置し、生徒の学習環境の改善を図ることができた。あわせて、生徒の情報活用能力の向上に向けた自主的な取組も促進され、生徒の主体性を生かした学校運営の一助となった。また、スクールカウンセラーや関係機関との連携を強化し、生徒の個別ニーズに応じた支援体制を充実させた。

(4) 健康・安全

年度当初には、スクールカウンセラーによる第1学年全員面談を実施し、生徒の心身の状況や課題について早期把握を図るとともに、必要に応じて関係機関とも連携し、個別ニーズに応じた支援を行った。特別支援教育コーディネーターを中心に、教職員とスクールカウンセラー等が連携し、生徒一人一人が安全で安心して学校生活を送れる支援体制の充実に努めた。また、心身の健康に係る情報を学校全体で共有し、組織的な対応を進めるため、教育相談委員会を年間5回開催し、継続的な支援体制の強化を図った。1名が外部機関による通級指導、1名がコミュニケーションアシスト講座を受講するなど、生徒の個別ニーズに応じた支援体制を充実させた。

生徒の健康・安全を確保するための取組を計画的に推進した。保健だよりを発行して健康管理や安全面の注意をこまめに周知し、年間の保健室利用は896件（内科的642件、外科的197件、相談57件、その他22件）であった。また、救急車要請は4件で、緊急時の適切な対応を図った。さらに、専門医（産婦人科）派遣事業により専門家の助言を受け、生徒の健康課題への理解と対応力を深めることができた。

安全面では、防災教育推進委員会を年2回実施し、地域から防災訓練・避難訓練に関する具体的な助言を受けた。3回目の避難訓練では、大雨・大雪・台風などによる公共交通機関の停止や通学路の水没を想定し、東京都防災アプリ・東京マイ・タイムラインの紹介や、災害用伝言サービスの体験を通して、生徒の防災意識と自助能力を高めた。次年度は、地域や外部施設と連携した実践的な防災訓練をさらに充実させていく。

(5) 国際理解教育

本年度は、体験的活動と言語教育を両輪とした国際理解教育を推進した。異文化体験の場の積極的活用として、1年生276名がTGG（Tokyo Global Gateway）に参加し、英語を用いた実践的コミュニケーション活動を通して、異文化理解を深める機会を設けた。体験型の学習により、生徒の英語使用への意欲向上と国際的視野の拡大が見られた。基盤となる英語力の向上の取組としては、英語学習の成果指標の一つである英語検定において、準2級以上の合格者が43名となり、内準1級合格者が1名出るなど、一定の成果を上げることができた。これは、授業改善や外部施策の活用を通じた継続的な英語力育成の成果である。また、多様性を尊重する態度の育成の一環として、第2・第3学年の韓国語選択教科において韓服体験を実施した。言語学習にとどまらず、文化的背景や生活様式に直接触れることで、相互理解と多文化共生への意識を高めることができた。次年度も、体験的活動と言語教育を両輪とした国際理解教育を推進する。

(6) 募集活動・広報活動

本年度は、デジタル広報を強化し、学校ホームページを 391 回更新するなど積極的に情報発信を行った。学校見学会・外部説明会・学校説明会に計 2,229 名が来校・来場し、学校運営連絡協議会（年 3 回）の活用や在校生による 71 校の出身中学校訪問、学習塾 182 件の訪問を通して、中学校や地域との連携を深めた。その結果、中進対第 1 志望 1.06 倍、推薦入試 2.57 倍、学力検査による選抜 1.15 倍を実現した。次年度は、SNS を活用し、さらに情報発信を充実させ小平西の魅力を発信することで、第一志望生徒の増加を図る。

(7) 経営企画室

本年度は、予算編成指針に基づき、費用対効果を意識した予算の効率的な編成・執行に努めるとともに、老朽化が進む校舎への各種工事に対応した。工事対応に伴い一時的に超過勤務等への影響が生じたものの、経営企画室長を中心にチームとして連携し、計画的な業務遂行を図ることができた。また、学事システムの変更においても、適切な進行管理により業務を円滑に進め、学校運営への影響を最小限に抑えた。これらの取組により、予算管理と施設維持管理の両面で組織的に対応できる体制が維持され、生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境づくりに寄与した。

次年度は、組織体制をさらに強化し、経営企画室と教員が連携しながら日常的な施設設備の点検を実施し、連絡調整や修理等の速やかに対応を行う。

(8) 学校経営

DX 推進委員会を中心に校内DX化を推進するとともに、特別支援教育コーディネーターが中心にコンディションレポート運用体制を構築した。校内研修を 2 回実施し、リアテンドント活用率が約 8 割に増え、教職員の情報活用能力向上とともに授業改善並びに働き方改革が促進した。企画調整会議及び職員会議等での完全ペーパーレス化により基幹会議の所要時間 1 時間以内を実現した。男性教員 1 名が育児時間を取得するなどライフ・ワーク・バランスを促進した。服務事故防止に向けたシミュレーション研修を年 3 回実施し、服務事故の未然防止に努めた。主任教諭選考に 2 名が合格し、学校リーダー特別講座に 1 名、専門性向上研修を述べ 18 名受講、経営企画室職員 1 名が教育庁本庁インターンシップを受講させるなど、校内外の研修を活用した人材育成を推進し、教職員の資質向上を図った。次年度は、校内DXの更なる定着と活用の質の向上を図り、学習指導及び校務全般におけるデジタル活用を一層推進する必要がある。加えて、教育委員会指定・推進事業や校内外の研修を意図的・計画的に活用し、ミドルリーダー層の育成及び教職員一人一人の専門性向上を図り、組織力の強化と教育活動の質的向上につなげていく。

2 実績値

目標項目		目標値	実績値	
			令和6年度	令和7年度
学習指導	ICTを活用しグループ学習を取り入れ、主体的な学びであると回答した生徒の割合	75%以上	86.6%	86.8%
	講習や補習の充実度（生徒）	75%以上	79.4%	81.1%
	実用英語検定準2級以上合格者	40名以上	42名	43名
	漢字検定準2級以上合格者	10名以上	22名	7名
	図書館の自習室利用	1,000名以上	1,306名	1,200名
進路指導	進路指導満足度（生徒）	80%以上	87.4%	89.0%
	大学入学共通テスト出願者数	130名以上	41名	38名
	日東駒専レベル以上大学合格者数	12名以上	16名	6名
	就職決定率	90%以上	100	100%
特別活動	学校行事満足度（生徒）	80%以上	91.1%	90.0%
	部活動加入率	80%以上	70.8%	72.2%
	上位大会進出（都大会ベスト32以上）	5部以上	2部	1部
	地域貢献活動回数	5回以上	5回	5回
生活指導	自己指導能力の実現度（生徒）	90%以上	93.8%	93.5%
	年間遅刻延べ回数	2,500件以内	7,532件	8,804件
	いじめ問題への対応度（生徒）	80%以上	87.1%	80.0%
募集活動・ 広報活動	学校ホームページ更新回数	350回以上	147回	391回
	推薦入試の応募倍率	3.15倍以上	2.89倍	2.57倍
	一般入試の応募倍率	1.30倍以上	1.20倍	1.15倍
	学校見学会・学校説明会等の参加者数	2,200名以上	2,365名	2,229名
学校経営	学校生活の充実度（生徒）	80%以上	89.5%	88.7%
	学校教育への満足度（保護者）	80%以上	86.1%	88.5%
	教職員の働き方改革（教員）	75%以上	74.2%	66.6%